

障スポ・水泳で2冠 報告

豊田の岡島選手が市長に



障スポでの優勝を報告する岡島選手＝豊田市役所で

昨年10月に滋賀県で開かれた「全国障害者スポーツ大会(わたSHIGA輝く障スポ2025)」の水泳・肢体不自由者男子1部の50㍑自由形と背泳ぎで、豊田市の岡島貫太選手(21)＝日本福祉大＝がいずれも優勝を果たした。15日には市役所を訪れ、太田稔彦市長に報告した。

岡島選手は生まれつき、右手に欠損がある。水泳は5歳から始め、キックに力

を入れた泳ぎを意識して練習に励んできたという。今大会では背泳ぎで大会記録を更新したものの、「思い通りのタイムではなかった」と反省の弁を口にした。

10月の愛知・名古屋アジアパラ大会を目指しており、「障害によって泳ぎ方が変わってくるので、大会ではそのような違いも見えてくれたらさらに楽しんでもらえる」と話した。

(柴田一樹)